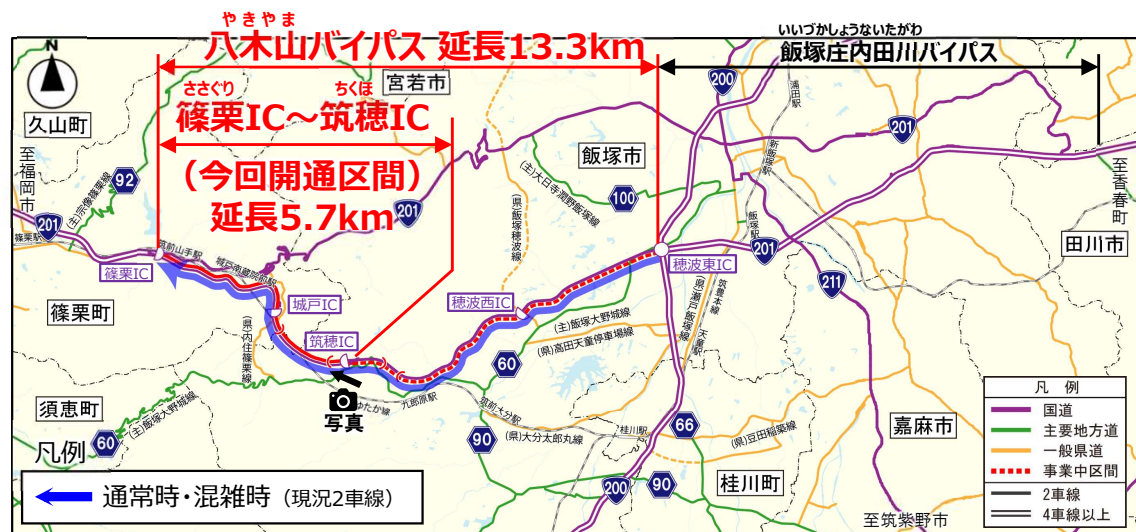


【八木山バイパス】 今回の4車線開通により期待される効果①

交通混雑の緩和により、筑豊地域と福岡都市圏の交流を促進

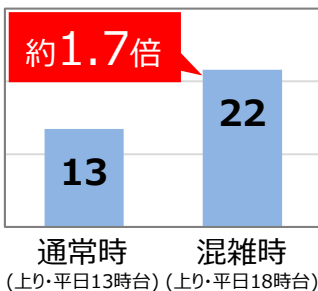
○現在の八木山バイパスは、平日の通勤時間帯(朝夕)に渋滞が頻発し、通常時に比べ約1.7倍の所要時間を要すなど、隣接する4車線区間に比べ時間信頼性が低く、地域間交流に支障があります。

○今回、篠栗ICから筑穂IC間(延長5.7km)が4車線で開通することにより、混雑時において約7分の所要時間短縮が見込まれるとともに、速度のばらつきが減少し時間信頼性が向上するなど、筑豊地域と福岡都市圏の交流を促進します。

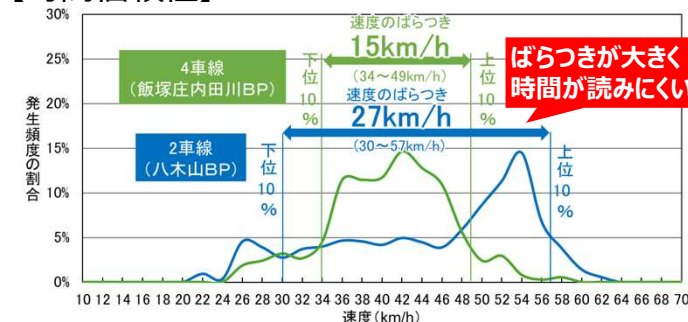


八木山バイパス全線の所要時間と時間信頼性 (現況)

【所要時間】



【時間信頼性】

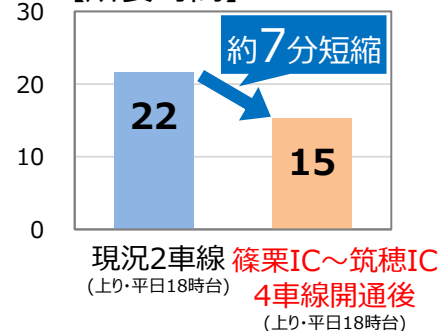


※資料:ETC2.0プローブ (R5.10平日平均)

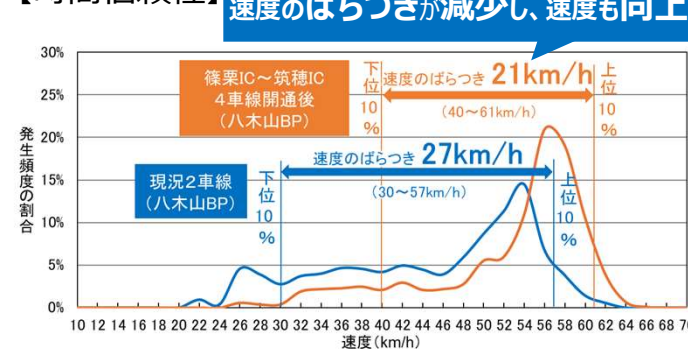
※資料:ETC2.0プローブ (R5.10平日平均) 上り・7時~9時

今回の4車線開通後の八木山バイパス全線の所要時間と時間信頼性の変化 (混雑時)

【所要時間】



【時間信頼性】



※資料:ETC2.0プローブ (R5.10平日平均)

※現況2車線 : 穂波東IC→篠栗ICの18時台所要時間
整備後4車線: 篠栗IC～筑穂IC間60km/h (規制速度)

※資料:ETC2.0プローブ (R5.10平日平均) 上り・7時~9時

※整備後4車線: 篠栗IC～筑穂IC間60km/h (規制速度)

